

# 地域医療連携室たより

No.34

発行日  
2016年12月9日

医療法人社団松柏会  
至誠堂総合病院



地域医療連携室たより  
第34号

## 目指すは総合診療医



### 内科医

たか はし よし や

### 高橋 祥也 医師

今年4月に当院に就任しました。  
今後の抱負をインタビューしま  
した。

### 生まれは？

生まれたのは宮城県仙台市。宮城県仙台第二高等学校卒業後、仙台駅裏の予備校を経て、東北大学医学部に入学したので生まれも育ちも仙台。卒業してからは、北海道勤医協中央病院で2年間の初期研修を行い、2016年4月より当院に入職した。

### 医師を目指したわけ？

医師を目指したわけは、中学生のころテレビで江口洋介主演「救命病棟24時」をみて、医者ってカッコいいなと思ったのが始まり。自分で勉強した知識や技術が仕事に活かせる、そして人のためになる医師という職業は素晴らしいと思った。



後期研修報告会 2016.8.22

## 現在の研修状況は？

現在は外来（毎週月・木曜日午前と金曜午後の新患対応）と、入院患者を診ている。当院で働くようになってから感じたことは高齢者が多いということ。そのため、治療を必要としているだけでなく、ケアを必要としている方が多いと感じる。病院の役割として終末期の患者が多く、看取りも多く経験させてもらっている。患者の中には社会生活を送る上での様々な困難を抱えている方がいるので医学的側面だけでなく、そういった社会的側面からのアプローチも学ぶ機会が多い。

## 総合診療医を目指して

総合診療医を目指しているが、山形県内では総合診療科<sup>\*</sup>はまだ発展途上の分野である。総合診療医はよくある病気（コモンディジーズ）は何でもみられるよにしていかなければならない。特に高齢者は多くの病気を持っていることが多いので、総合診療的なスタンスは重要である。もちろん、必要に応じて専門医療へつなぐ橋渡しの役割も大事である。これからの山形の総合診療発展のために頑張りたいと思っている。

<sup>\*</sup>総合診療科は専門化・細分化しすぎた現代医療の中で、全人的に人間を捉え、特定の臓器・疾患に限定せず多角的に診療を行う部門のこと。

## 話し易い雰囲気と診療科の垣根がない

当院の看護師他、コ・メディカルの方々とはとても話し易い雰囲気がある。明るく楽しい職場なので働きやすい。こじんまりとした医局なので診療科の垣根もなくコンサルトしやすい。経験豊富な先生方が多く、若手の医師としては様々な経験や知識を教えてもらえることもありがたい。

## ご家族は？ 趣味は？

家族は妻、男の子1人、女の子2人。まもなく4人目が生まれる予定である。趣味はアウトドア。去年まで北海道で大自然を満喫したのでこれからは山形で楽しみたい。

4月に当院に赴任して以来、誠実に患者さんに対応していただいています。当院の川瀬隆一医師と二人、総合診療医をめざしており、何とも心強いかぎりです。

今後ともよろしくお願いします。



川瀬隆一医師、高橋祥也医師、お二人の先生は患者さんにとっても優しく、明るく接し、看護師さんをはじめ、職員の皆さんにも笑顔でやさしく接し、病院全体に温もりのある雰囲気を作ってくれます。病院の発展を象徴する若手医師のホープです。家族の愛情に支えられ、今後の活躍が多いに期待されます。（高橋敬治院長 談）

# 回復期リハビリテーション病棟の御案内

リハビリテーション科部長 小林 真 司



介護職員による食事前の体操指導

2010年3月に当院4階に60床で本病棟が設置されて7年目になります。山形市内のみでなく県内外からの患者さんをご紹介いただき、加療させていただいております。リハビリテーションは介入時期によって「急性期」「回復期」「維持期」の3つに分かれます。発症・受傷・手術後の早期に行う「急性期」の次に行うのが「回復期リハ」で、当院の回復期リハ病棟では多くの専門職がチームを組んで集中的にリハを提供させていただき、心身ともに回復した状態で早期の在宅復帰をめざす医療を提供しています。

この病棟での加療対象となるのには脳梗塞や脳出血などの脳血管障害、脊髄損傷や大腿骨・骨盤・脊椎・股関節・膝の骨折、外科手術や肺炎など安静治療の結果、筋力低下などを併発してしまった廃用症候群などです。また、診療報酬の制度上、この病棟は3段階に分かれ、当院は最も重症な方への対応が可能な「入院料1」の認可を受けており、日本リハビリテーション医学会認定の専門医3名が勤務（県内随一）しています。

昨年度の新規入院総数は355名、同時期の退院数は359名で、在宅復帰率は前年度の80.7%同様の80.0%でした。また当院は地域連携パス<sup>※1</sup>の運用に連携病院として参画しており、「脳卒中」、「大腿骨近位部骨折」の方々も数多く診療させてもらっています。昨年度の「脳卒中」で加療された方は40名で機能の改善度<sup>※2</sup>は全国平均19.8点を上回る24.9点でした。「大腿骨近位部骨折」では67名の方を加療させていただき、83.7%の方々を受傷前同様の歩行に戻り、退院されています。

回復期のリハビリが必要となった時には是非、当院の「回復期リハ病棟」をご活用いただければと考え、ご案内させていただきました。詳細につきましては本誌巻末に掲載されている地域医療連携室までお問い合わせください。

※1 地域連携パス …一定の地域内にある複数の医療機関が急性期・回復期・維持期の機能を分担して加療を行う医療システムのこと

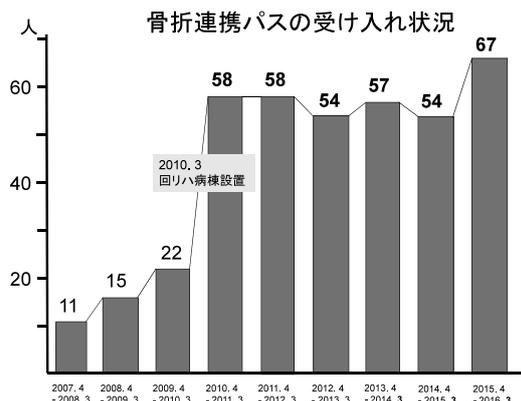
※2 改善度 …………… (退院時の評価点数) - (入院時の評価点数)

注：ここではバーセル・インデックス（点数が低いほど機能障害が強く、100点満点で評価）を使用

## 新規入院状況

平成27年4月～平成28年3月 (人)

① 脳血管障害(②を除く)・脊髄損傷等	67
② 高次脳機能障害のある脳血管障害	5
③ 大腿骨・骨盤・脊椎等の骨折	245
④ 廃用症候群	21



至誠堂総合病院 第16回地域連携交流会 開催



山崎章郎先生

# 住み慣れた街で、 最期まで、生きて逝く

～ケアタウン小平チーム10年の歩み～

9月29日（木）午後6時30分より山形市保健センターにて上記テーマでケアタウン小平クリニック所長の山崎章郎先生を講師に開催されました。

穏やかに淡々と自分たちの実践を話す山崎先生の姿に多くの参加者が共感、感銘をしました。自分たちの日々の医療や介護を振り返り、自分たちの住む地域をどのように創っていくかを考え直す時間となりました。



## 我らが街 桜町・木の実町・旅籠町商店街 ⑳



**やきいもかん太** 山形市桜町4-16 TEL 090-9747-3481

営業期間11月～3月末まで 営業時間 11:00～18:00 日祭日お休み

### ◇店主 和合千恵子さんに聞く

11月から3月までの開店となる焼き芋の専門店「やきいもかん太」は今年で3年目となります。会社を定年退職後、何かしたいと思っていた千恵子さん。やさしい自然の甘さのある、さつまいもに魅せられ、店を開くことが実現しました。なぜ11月から？それは9月～10月に収穫した芋が11月ごろに熟成するからです。芋選びにはこだわっています。芋はしっとり系とほくほく系に分かれますが、それぞれ産地からの直送です。

明るく気さくな人柄はお客さんに大人気。千恵子さんは小さい子どもさん達が「おいしい!」といってくれることが何より嬉しく、ご近所の方々がお客様です。

いろいろな種類があるので、ぜひ食べ比べてみて下さい。



日本医療機能評価機構認定施設  
病院機能評価



左 セラミック式石焼き芋機  
右 石焼き芋機 業務用ガス式

**至誠堂総合病院**  
 地域医療連携室  
 山形市桜町7-44  
 023-622-7551 (直通)  
<http://www.shiseido-hp.jp>  
 E-mail [mail@shiseido-hp.jp](mailto:mail@shiseido-hp.jp)  
 発行責任者 至誠堂総合病院  
 高橋 敬治  
 編集 地域医療連携室